

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

トビイロウンカ第三世代幼虫の防除の徹底について

— 特に中晩生品種では注意が必要です —

本年のトビイロウンカの発生は9月中旬まで平年よりやや少なく推移していますが、一部圃場では成虫または老齢幼虫がみられています。

今後、9月下旬以降に坪枯れを本格的に引き起こす第三世代幼虫が発生してくるため、特に10月上旬以降に収穫する中晩生品種については、注意が必要です。

については、必ず各圃場毎に発生状況を調査し、下記事項を参考にして防除を徹底してください。

記

1. 発生概況等

- (1) 9月16日～17日に実施した普通期水稻の巡回調査（48圃場）では、トビイロウンカの発生圃場率54.2%、寄生株率6.1%（平年19.2%、前年35.9%）であり、平年よりやや少なく前年より少ない。しかし、一部で成虫及び老齢幼虫が多数寄生している圃場が認められる（図1、表1）。
- (2) 巡回調査以外の一部圃場で、9月上旬に、本虫の多発生が原因の株の黄化が認められている（[9月10日付け病害虫対策資料第15号参照](#)）。
- (3) 本年の主発生（7月14日飛来虫）の第三世代幼虫（坪枯れ形成世代）が出現する9月下旬以降、発生が増加すると思われる（図2）。

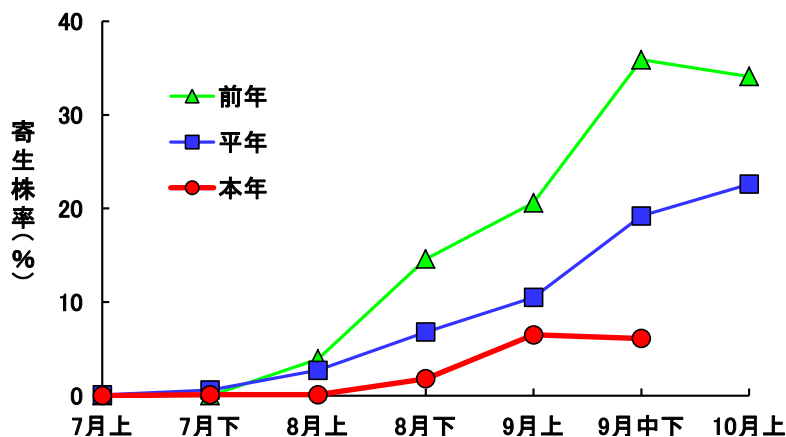


図1 普通期水稻におけるトビイロウンカの発生推移

2. 防除対策

- (1) トビイロウンカの発生状況は圃場間や同一圃場でも偏りがあり、圃場の外からの観察だけでは発生状況を確認できない。このため、これまでの防除実績にかかわらず、必ず各圃場毎に払い落とし法によって発生状況の調査を徹底し、防除の要否を判断する。
- (2) 多発生圃場においては早急に防除を行う。
- (3) 本種は株元に生息しているので、薬剤は株元まで十分かかるよう、丁寧に散布する。
- (4) 薬剤散布の際には、周辺作物への飛散防止に努めるとともに、収穫前使用日数及び使用回数等の農業使用基準を遵守する。また、周辺環境に十分配慮し、ミツバチを含む周辺動植物へ影響がないように注意する。

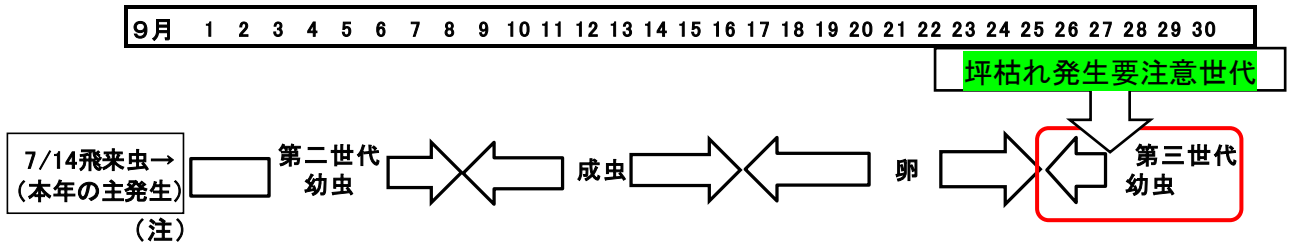
表1 普通期水稲におけるトビイロウンカの発生状況
(25株調査、平成26年9月16～17日)

調査圃場	寄生株率	株当たり最高頭数 ^{注)}		幼虫の主な齢期	調査した稲の品種
		成虫	幼虫		
佐賀市	0	頭	頭		夢しずく
"	4	1			夢しずく
"	16	1	1	中～老	夢しずく
"	8	1			夢しずく
多久市	4	1			夢しずく
"	0				夢しずく
"	0				夢しずく
"	0				夢しずく
小城市	0				
"	0				夢しずく
"	0				さがびより
"	0				夢しずく
鳥栖市	4	1			
"	12	2			
"	8	2			
"	4	1			
神崎市	0				
"	4	2			
"	0				
"	0				
吉野ヶ里町	16		2	老	
"	0				
"	0				
"	4	1			
唐津市	12	1	1	老	夢しずく
"	4		1	老	夢しずく
"	8	2			
"	4	1			
伊万里市	20	3			たんぼの夢
"	8	5	1	老	たんぼの夢
"	4	1			たんぼの夢
"	12	2			たんぼの夢
武雄市	0				さがびより
"	0				さがびより
"	4	1			さがびより
"	0				さがびより
白石町	4	1			夢しずく
"	0				夢しずく
"	0				夢しずく
"	0				夢しずく
鹿島市	8	1	1	老	ヒヨクモチ
"	20	1	1	中	ヒヨクモチ
"	0				夢しずく
"	20	2	3	若～中	夢しずく
嬉野市	0				ヒノヒカリ
"	0				さがびより
"	32	2	4	中～老	夢しずく
"	48	5	5	中～老	さがびより
発生株率 (%)	6.1				
平年発生株率 (%)	19.2	平年比 : やや少ない			
前年発生株率 (%)	35.9	前年比 : 少ない			

注)各圃場において25株ずつ調査を行い、そのうち最も発生が多かった株に寄生している頭数を最高頭数として表示。

図2 トビイロウンカの発生予想パターン 第7版

(平成26年9月18日、佐賀県農業技術防除センター作成)



(注)

- (1) 7月14日の飛来虫を起点として、有効積算温度と佐賀市川副町(農業試験研究センター内)の日最高気温及び日最低気温(9月17日までは今年の日データ、9月18日以降は平年値)を基に、その後の発生を予測した。
- (2) 最新の気温で再計算した結果、発生予想パターン第6版(9月10日作成)と比較して、**今回の第7版に違いはなかった。**

参考: ウンカ類幼虫の見分け方について

	若齢幼虫の体色	中～老齢幼虫の体色	水面での後脚の出し方
セジロウンカ	白っぽい	灰白の斑紋	 : 真横 
トビイロウンカ	白っぽい	薄茶か茶褐色	 : 真横～やや斜め後ろ 
ヒメトビイロウンカ	黄褐色	淡黄色か薄茶か茶褐色 (体側の色が濃い場合あり)	 : 斜め後ろ  